

第1回 3施設合同診察研修会

医師は視覚・聴覚・嗅覚・触覚をフル活用して、漢方医学的所見を採取し、診断を行う。所見採取には五感や経験などに依存する面が多く、施設間差や個人差がある。

そのため、明文化した他覚的所見の判断基準を基に、実際に医師が同一の患者モデルの他覚的所見を採取し、診察結果を検証する「診察研修会」を開催した。

【参加者】

- ・花輪 壽彦（北里大学）
- ・小田口 浩（北里大学）
- ・三瀨 忠道（福島県立医科大学）
- ・村松 慎一（自治医科大学）

